

保健ガイド

保健センター
552・0061

◆健康相談(②のみ予約制)

①日時 6月5日、12日、19日、26日の木曜日午前9時30分～11時
見台集会所
場所 都宮熊川アパート富士

◆健康教室

日時 6月19日、26日の木曜日午後1時30分～3時30分
テーマ 「自分にあった体重ですか？」
対象 市内在住で、両日とも参加できる方
講師 栄養士・保健師

◆健康教育

日時 6月11日(水)1時(受付)講演1時30分～2時30分
講師 医師(脳神経外科)
テーマ 「迷医名患者を語る」
保健師による健康相談午後

◆育児相談(申込み不要)

対象 7か月児からの乳幼児
内容 身体測定・育児相談
相談員 保健師・助産師・栄養士
日時 6月6日(金)午後1時

◆歯科健康診査

日時 6月4日(水)、18日(水)午後1時～2時(受付)
場所 保健センター
対象 4歳未満
申込み 前日午前中までに保健センターへ。

◆胃がん検診

日時 7月17日(木)午前9時～正午
場所 保健センター
対象 市内在住の35歳以上の方。
※なお、次のような方は受診できません。
①胃を手術した方
②現在、胃または十二指腸潰瘍を治療中または経過観察中の方
③胃の検査、受診後1年を経過しない方
④妊娠中の方
定員 先着40人
申込み 5月19日から保健センターへ。

診療時間	内科・小児科(昼間)	内科・小児科(準夜)	歯科休日診療
午前9時～11時45分 午後1時～4時45分	福生市保健センター 福生市福生2125-3 ☎552・0099	羽村市休日夜間急患センター(羽村市役所裏) 羽村市緑ヶ丘5-1-2 ☎555・9999	みさわ歯科クリニック 福生市熊川235 プレステージ東和1F ☎551・4744
1日(日)	福生市保健センター	福生市保健センター	梅田歯科医院 福生市福生1046岸ビル ☎553・5161
8日(日)	福生市保健センター	福生市保健センター	平出歯科医院 福生市福生248-1 ☎551・4738
15日(日)	福生市保健センター	福生市保健センター	大浦歯科医院 福生市福生867 ☎553・0667
22日(日)	福生市保健センター	福生市保健センター	新井歯科医院 福生市福生875-9 メゾン福生1F ☎530・1488
29日(日)	福生市保健センター	羽村市休日夜間急患センター	

※医療機関が変更になる場合もあります。受診の際は保険証をご持参ください。

6月の予防接種

種別	期日	通知対象	備考	
ポリオ ワクチン	2回目	2日(月) 平成14年1月・2月生まれ 4日(水) 平成14年3月・4月生まれ 10日(火) 平成14年5月・6月生まれ	春と秋に1回ずつ接種して完了(合計2回)。対象年齢は3か月から7歳6か月未満。	
	日本脳炎	2回目	6日(金) 平成12年1月・2月生まれ 9日(月) 平成12年3月・4月生まれ	初回接種(1・2回目)は1～4週間隔で2回接種し、翌年に追加接種(1回)で完了。対象年齢は3歳から7歳6か月未満。
		追加接種	11日(水) 平成10年9月・10月生まれ 13日(金) 平成10年11月・12月生まれ 16日(月) 平成11年1月・2月生まれ 20日(金) 平成11年3月・4月生まれ	
結核検診	ツベルクリン	25日(水)	ツベルクリンの2日後に判定。陰性の方にBCG接種(1回で完了)。対象年齢は3か月～4歳未満。	
	BCG判定と	27日(金)	平成15年1月1日～2月15日生まれ	

必要事項を記入した予診票と母子手帳を持参し、保護者同伴で。
※対象年齢で未接種の方は保健センターにご連絡を。 問合せ保健センター

6月の乳幼児健康診査

健診内容	対象	健診日	受付場所・時間
3か月児	平成15年2月生まれ	17日(火)	保健センター 午後1時～1時45分
6か月児	平成14年12月生まれ	満月齢後の6・7か月期	個別健診です。通知はしません(3か月児健診の際、受診票を交付)。都内の指定医療機関で受診。
9か月児	平成14年9月生まれ	満月齢後の9・10か月期	
1歳6か月児	平成13年11月生まれ	24日(火)	保健センター 午後1時～1時45分
3歳児	平成12年5月生まれ	3日(火)	

◆母子健康手帳を必ず持参。6、9か月児健診は受診票も必要です。

市民のひろば

文責 土屋医師
問合せ保健センター ☎552・0061

医師会だより

みなさんは、どのような人生を送られておられるでしょうか。毎日元気で楽しい、あるいは病気がちで憂鬱である、等々。千差万別の人生があると思われまます。では、その原因は何でしょうか。現在では、遺伝的素因と環境が主な原因であると考えられています。親から受け継いだ遺伝子によって、我々人間の形態と機能が規定されています。一方、環境からも大きな影響を受けます。

そこで、各種の原因が遺伝子と環境のどちらにあるのかを区別する必要がありまます。現在では感染症として知られている疾患が、以前はある家系に多発するたために遺伝するのではないかと誤解された時代もありました。しかし、現在では同一

遺伝子に繰られる人生?

人生の前半は、外見や病気になるかややすさ等、遺伝子の影響を強く受けます。しかし、人生の後半特に人間性・倫理観・社会的役割等は、家庭教育・学校教育・社会教育などの環境要因、さらには自分自身の修身によって鍛えられ向上するものです。その人の言動をじっくりみれば、信頼できる立派な人物であるか否かを判断できることを、我々は経験上よく知っています。つまり、親から受け継いだ遺伝子によって、ある程度の形態と機能は規定されていますが、長い人生の中では、むしろ親からもらった遺伝子よりも本人の誠意と努力が人間形成に重要になってきます。

そこで、「遺伝子に繰られる人生」ではなく、むしろ「遺伝子に規定された運命を乗り越え切り開く人生を」送ろうではありませんか。

「二隅を照らす、これすなわち国宝なり」という有名な格言がございます。我々一人一人が誠心誠意努力して、与えられた自分の役割を忠実に担い、みんな一緒に幸せになりましたいものです。

